

Characteristics of Adrenal-Dependent Mammary Cancers

C. Huggins & L. Y. Thomas

Ann. Surg., 140; 4, 497, 1954.

再発性乳癌患者100例に Adrenalectomy を施行し、その結果から本手術の適応に就て論じている。勿論これらの患者は何れもそれ迄にレ線照射及びホルモン療法を行つている。これらの内で38例に於て好転をみ、その奏効した症例の特徴としては

- (1) 年齢は40才から60才迄のものが多し。
- (2) Radical mastectomy から Metastase の始り迄の期間の長いものは、そうでないものよりもよく奏効した。
- (3) 原発腫瘍が Adenocarcinoma である場合、或は Adenocarcinoma を多く混じているものは、そうでないものよりもよく奏効した。
- (4) 尿中 Estrogen 物質の値が高い場合程よく奏効した。

(高三秀成抄訳)

The Problem of Nutrition Following Complete Gastrectomy.

H. J. Mc Corkle & H.A. Harper

Ann. Surg., 140; 4, 467, 1954.

正常犬及び部分的胃切除犬を対照として120匹の胃全剝除犬に就て、術後の消化吸収能等に就て調査した。而してビタミン療法等術後の食事療法さえ適当に工夫すれば良好なる栄養状態及び体重を維持せしめ得る事実を知つた。

更に胃の全剝除術を施行した患者36名中24名に就て詳細に観察したところ、術後患者が可成りの食慾を有し、而も可成りの食事量を保持するならば、体重を維持し、日常の生活を送ることも可能である事実を知ると共に、又斯る観点から胃腸吻合術の術式にも言及した。

(山辺一郎抄訳)

会 員 動 静

酒 井 克 治	大阪市住吉区我孫子東2丁目 市営我孫子東 第二鉄筋住宅 一号館五号室
伊 藤 肇	呉市広町弥生新開中国労災病院
松 本 哲 夫	大阪市都島区内代町2ノ39 郵政官舎
大 谷 誠 二	天津市石山園山町88ノ1 東洋レーヨン附属病院
谷 本 恒 幸	神戸市兵庫区松本通り3丁目8
片 岡 典 正	京都市東山区山科御陵大津畑町
今 井 次 雄	呉市広町弥生新開中国労災病院
塩 川 弥 一 郎	三重県鈴鹿市平田町

編 輯 後 記

(1) 欧女原著が多くなり、国際誌としての性格を具備するに至りつつあることは真によろこばしいことでもあります。

(2) 就いては誤植を可及的皆無ならしめるべく編輯者として努力致して居りますが、投稿されました欧女原稿そのものに既に可成りの誤植があり、今後共投稿者諸氏の御協力を願つて止みません。 (日笠頼則)